

23 年度決算委員会で総会質疑を行いました

市債・臨時職員等の給与・学校規模適正化事業について質問

山口つよし議員は、24 年 10 月 11 日に決算特別委員会総会で質問を行いました。

項目は、「福岡市の市債について」「臨時職員・任期付短時間勤務職員・常勤講師の給与等について」「学校規模適正化事業の進捗状況について」の 3 テーマです。



◆ 福岡市の市債について ◆

福岡市の一般会計の現在の市債残高は 1 兆 3,592 億円です。23 年度の発行額は、全会計で 2,794 億 6,390 万円でした。

プライマリーバランス(歳入-歳出)は、12 年連続して黒字を確保しています。今後、人口の高齢化と景気の動向によって、市税収入が減少し赤字も予測されますが、これからも市民サービスを維持し、公共建築物の再構築を行うためにも市債をうまく活用していく方針を市長と財政局長にたしました。

また、市民に財政状況のお知らせ方法を研究することや投資と支出の考え方を議論いたしました。これから策定される財政プランに様々な要望を行いました。

◎市債とは…建物や橋、道路など耐用年数の長い施設について、後年度も均等に負担するために発行します。しかし金額が多くなると市債の支払いが増加するため要注意です。

◆ 臨時職員や常勤講師の給与について ◆

全国の最低賃金が、本年 10 月に改定されました。福岡県は 6 円あがり 709 円になりました。広島県は 719 円ですが、生活保護受給者の金額が上回っています。

本市の臨時職員やケースワーカーの任期付き職員の給与はクリアしていますが、常勤講師と正規職員との開きを指摘しました。また学校教員の講師が 5 年以上の勤務者に採用試験で論文のみの試験となっていますが、合格者が格段に少ない点を指摘しました。これから教員の大量退職時代(毎年 300 人程度)に入ります。これからの人材の確保を要請いたしました。



◆ 学校規模適正化事業について ◆

過大規模校(31 学級以上)の 4 校が手つかず、小規模校(6 学級以下)の 12 校 5 ケースの内 2 ケースは統合の話が進んでいます。

平成 20 年に適正化検討委員会から答申を受けていますが、小規模校グループの 2 か所しか話が進んでいません。4 年間も経過した現在、子供たちの最適な学習環境となるようスピードアップして取り組むようたしました。今後もこの問題にしっかり取り組んでまいります。

須恵川の護岸整備 (松島校区内) が終了しました!



水害の状況 (2009/7/26 午前 10 時)

川の水面を超え松田・原田・津屋・多々良地域に水が溢れました。

2012/10 (完成写真)

パラペット(簡易堤防)がコンクリート製で完成。更に土手の堤も固められ完成しました。樋井川と那珂川の工事は、今後2年続きます。

◆ 福岡市のトピック事業 ◆

① 子ども病院建設

アイランドシティでの建設工事が 24 年 11 月より始まります。平成 26 年 11 月の開院予定です。併せて高速道路も延伸工事を行います。

② 九大箱崎キャンパス移転事業

移転は工学部が終了し、理学系が 27 年に文系が 30 年までに農学系が 31 年に移転し完了します。現在、約 46ha の跡地について協議が始まっています。保存建物や樹木も協議中です。

③ 西鉄大牟田線連続立体交差事業 (県・市)

井尻駅から下大利駅まで約 5km 区間 4 駅と新設 1 駅を立体にします。これにより 7 踏切が消滅して安全が確保されます。32 年に高架切換え予定です。福岡市は井尻駅先から春日原駅近くまで担当です。



ご意見・ご質問・ご要望をお寄せ下さい
TEL: 711-4728 FAX: 741-4597 <議員控室>

山口つよし

昭和 33 年 7 月 1 日
福岡市生まれ (54 歳)
H15. 4 初当選
H23. 4 3 期目当選

